

研究所便り

しまんと

発行：四万十町教育研究所

第107号（通し番号）

令和6年9月5日 発行



今年も猛暑の夏でした。教職員の皆様におかれましては、夏期休暇をゆっくり過ごされましたでしょうか？残暑が厳しい二学期の始まりですが、健康には気を付けながら四万十町の児童生徒のために、お力をくださいませ。

さて、この夏はパリオリンピックで盛り上がり、高知県民から金メダル受賞者が2名も出て、高知県も大盛り上がりでした。本当に感動した出来事でした。メダルを目指した選手たちの熱闘にくぎ付けになり、喜んだり、悔しがったりした夏でした。東京オリンピ

ックから3年という短い期間の中で、目標を持ち、練習に励む選手、どのような努力を積み重ねてきたのか、私たちは想像もできません。が、一口には語られないことは想像できます。メダルの色は違っても、それぞれにドラマがあって、それを見たり、聞いたり、また試合のシーンを見るたびに、感動を覚えたオリンピックでした。そして、選手みんなが口をそろえて言ったことは「回りの人に支えられた、自分ひとりの力ではない」と、感謝の気持ちを口にしていました。

そして「ひとりではないよ」と伝えたい人々が周りにいます。生きづらい人、学校やお仕事に行きたくても行けない人、家から出られない人などに「支えてくれる人はたくさんいる」ということを知ってもらいたいと、教育研究所も活動しています。一人を支えるところは、教育研究所や教育支援センター以外にも実は町内にも県内にもたくさんあるのです。個に応じた支え方のノウハウのあるところもあります。今後はそういった関係機関の情報もお伝えしていきたいと思います。子どもの不登校の要因が家庭（経済、ネグレクト、虐待など）にあるとするなら家庭支援ができる場所を探します。支える機関を先生方にも知っていただくためにも、まずは教育研究所にご一報をお願いします。

オリンピックも私たちに喜びを与えてくれましたが、窪川・大正ソフトボール部が全国中学校大会で準優勝。ライブ配信をずっと見ていましたが、感動しました。選手の皆さん、お疲れさまでした。そして準優勝おめでとうございました。

二学期も教育研究所、教育支援センターをご活用くださいますよう、よろしく申し上げます。

教育研究所

☎ 22-3287 内線3310、3311

教育支援センター（かげつ）

☎ 22-0276

〃 （たのの・とおわ）

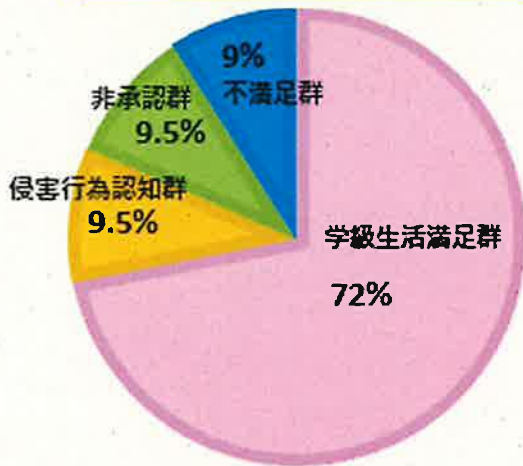
☎ 27-0131 内線4112

〈教育研究所 所長 野村 泰子〉

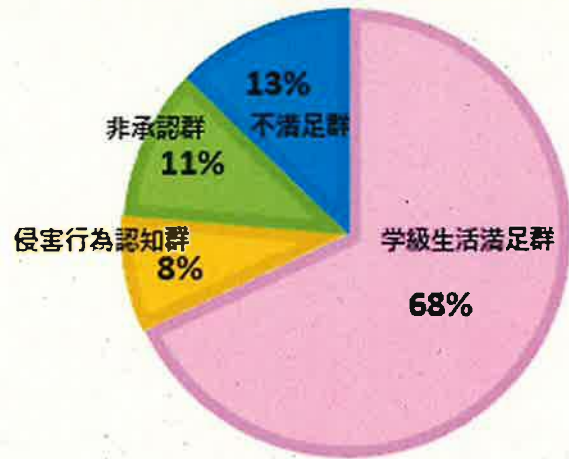
令和6年度 Q-U、hyper-QU 1回目アンケートの結果

研究所では、各学校の結果を集計して蓄積し、町内の児童生徒の傾向を把握するようにしています。1学期に実施していただいた1回目の結果(四万十町全体)をお知らせします。夏休みに結果の分析や気になる児童生徒の共有をしていただいた学校も多いと思いますが、意図的な声かけなど全教職員でQUの結果を活用した支援をしていただければと思います。2学期は2回目の実施をよろしくお願ひします。

小学校 1回目



中学校 1回目



- ・今回は小学1年生が実施しなかった学校が4校ありました。
- ・令和5年度実施の学級生活満足群の割合は、小学校では1回目 76%、2回目 72%、中学校では1回目 61%、2回目 67%でした。
- ・小学4年生以上を対象としたインターネットに関する質問「ネット上で友人から悪口や嫌なことをされる」「ネット上で仲間外しや無視される」について、ごく少数ですが、「とてもそう思う」「少しそう思う」と答えている児童生徒がいました。

新しい本の紹介

研究所に新しい本が入りました。棚便で学校へお返しすることもできますので、読んでみたい方はぜひ研究所へご連絡ください。



高知大学大学院教授 岡田倫代〔編著〕 学事出版
 気持ちを書き出すことで、子どもが客観的に自分自身を把握でき、教師も子どもの心の状態に気づくことができるチェックシートと、教師や子どもたちが「セルフコントロール力」を身につけるためのワークシート集です。

堀田龍也〔監修〕
 佐藤和紀・泰山裕・
 大久保紀一郎〔編著〕
 ☆ さくら社